

平成22年度第5回国立大学法人宮崎大学経営協議会議事要旨

日 時：平成22年11月15日（月） 13:30～15:40

場 所：宮崎大学大会議室（事務局棟4階）

出席者 本 学：菅沼学長、中山理事、原田理事、池ノ上理事、白石理事

学外委員：稲倉委員、岩切委員、齋藤委員、田崎委員（欠席：佐藤委員、山崎委員）

オブザーバー：日野理事、高山監事、木下監事、菊地副学長、村岡副学長、
丸山副学長（欠席：福田副学長）

列席者 森山企画総務部長、中村財務部長、栗木施設環境部長、徳丸学生支援部長、水井研究
国際部長、上村情報図書部長、羽生医学部事務部長、原総務課長、横山秘書広報課長、
中原企画評価課長、米澤人事課長、山口財務課長、福留監査課長 外

第1回議事要旨の確認

学長から、前回議事要旨（案）【資料1】により確認があり、原案どおり承認された。

第2回・第3回・第4回の報告

学長から、【資料2-1、2-2、2-3】により説明があり、第2回・第3回・第4回書
面審議について、原案どおり承認された旨の報告があった。

議事

1. 本学における人事院勧告の取扱いについて

企画総務部長から、【資料3】により8月10日に行われた人事院の給与勧告について
報告があり、本学においても人事院勧告に準拠して、俸給月額の下げ等、期末・勤勉給
の下げ、時間外勤務手当の改定を行いたい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承
認された。

2. 国立大学法人宮崎大学職員給与規程の一部改正（案）等について

企画総務部長から、【資料4】により本学役職員の給与水準について、国家公務員の給
与水準を考慮し、社会一般の情勢に適合したものとするため、関係規程等の所要の改正を
行いたい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 国立大学法人宮崎大学職員倫理規程の一部改正（案）について

企画総務部長から、【資料5】により再就職者による依頼等に関する規制を設けること
に伴い、国立大学法人宮崎大学職員倫理規程を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、
原案どおり承認された。

4. 職員宿舎四（船塚）及び特別支援学級教室（いちよう校舎）の売却処分について

施設環境部長から、【資料6】により老朽化した職員宿舎四（船塚）及び特別支援学級
教室（いちよう校舎）について、今後も有効利用が見込めず、改修の費用対効果も望めな
いことから売却処分としたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。

なお、委員から、大学が保有している施設等で、本件以外で有効利用が見込めない老朽
化した施設等があれば、今後処分も含めた評価・検討が必要ではないかとの意見があり、
施設環境部長から、本件以外でも清武の職員宿舎・住吉フィールドの宿舎等木造で老朽化
した施設もあることから、今後施設マネジメント委員会等で検討していきたい旨の説明が
あった。

5. 看護職員における常勤雇用枠（病院増員枠）の増員について

医学部事務部長から、【資料 7】により救急救命センター設置等に伴う看護職員の確保のため、看護職員における常勤雇用枠を増員したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6. 平成 22 年度人件費の推計について

企画総務部長から、【資料 8】により総人件費改革の実行計画期間及び第二期中期計画期間における人件費の推計について、直近のデータに基づき見直しを行った旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項

1. 工学部教育職員の懲戒処分について

学長から、【資料 9】により本学教育職員による不適切な情報管理があり、当該教育職員に対し 10 月 28 日付けで懲戒処分を行った旨の報告があった。

2. 平成 21 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

菊地副学長から、【資料 10】により 11 月 5 日に国立大学法人評価委員会から、「平成 21 年度に係る業務の実績に関する評価の結果」が通知された旨の報告があり、本学は項目別評価の「業務運営の改善及び効率化に関する目標」において「やや遅れている」との評価であったが、その他の項目別評価では「順調に進んでいる」との評価を得た旨の報告があった。

3. 平成 21 年度業務実績報告書の改善を要する点等について

菊地副学長から、【資料 11】により平成 21 年度業務実績報告書のうち、改善を要する点等がある項目について、説明があった。

4. 平成 21 事業年度業務実績報告書の概要について

菊地副学長から、【資料 12】により平成 21 事業年度業務実績報告書から本学の活動実績等をわかりやすくまとめた「概要」を作成し、ホームページで公開した旨の報告があった。

5. 宮崎大学第 2 期 6 カ年プランについて

菊地副学長から、【資料 13】により平成 22 年度から 6 年間の本学の「第 2 期中期目標・中期計画」を具体的にわかりやすく「プラン」として示し、ホームページで公開した旨の報告があった。

6. 平成 21 年度決算の承認について

財務部長から、【資料 14】により第 1 期中期目標期間終了時における本学の積立金の処分に係る申請が承認され、併せて平成 21 事業年財務諸表について、文部科学大臣により承認された旨の報告があった。

7. 平成 23 年度概算要求の状況及び平成 22 年度補正予算案について

財務部長から、【資料 15-1】により平成 23 年度概算要求額算定の考え方並びに本学における概算要求事項及び要求額について報告があった。

また、財務部長から、【資料 15-2】により文部科学省から内示があった平成 22 年度補正予算について報告があった。

8. 平成22年度戦略重点経費の配分について
財務部長から、【資料16】により今年度配分された戦略重点経費について報告があった。
9. 平成22年度「国公立大学を通じた大学教育改革支援プログラム」(GP)等の採択状況について
学生支援部長から、【資料17】により大学教育改革支援プログラム及び文部科学省以外の事業の採択状況について報告があった。
10. 「頭脳循環を活性化する若手研究者等海外派遣プログラム」採択状況について
研究国際部長から、【資料18】により本年度から新たに設けられた頭脳循環を活性化
する若手研究者等海外派遣プログラムの採択状況について、本学からは2件採択された旨
の報告があった。
11. 平成21年度第2回草の根技術協力事業（草の根パートナー型）事業提案書に係る選
考結果について
丸山副学長から、【資料19】により平成21年度第2回草の根技術協力事業（草の根
パートナー型）事業提案書に係る選考結果について、独立行政法人国際協力機構から採択
内定の通知があった旨の報告があり、相手国の承認が得られ次第、契約を締結する予定で
ある旨の説明があった。
12. 口蹄疫に関する対応について
企画総務部長から、【資料20】によりこれまでに本学が行ってきた口蹄疫に関する活
動等について報告があった。
13. 学校法人宮崎総合学院との業務提携について
企画総務部長から、【資料21】により本学と宮崎総合学院が10月7日に、各種資格
取得並びに就職試験対策等への協力のため、それぞれが保有する機能やサービス提供を目
的として、相互の業務提携に関する協定を締結した旨の報告があった。
14. センター等組織再編について
企画総務部長から、【資料22-1、22-2】により10月に産学連携センター等の
組織再編を行い、併せて事務組織についても再編を行った旨の報告があった。
15. 宮崎大学サテライト・オフィスのオープンについて
中山理事から、【資料23】により本学のサテライト・オフィスを橘通西3丁目に移転
し、利便性の向上と集客を図ることとした旨の報告があった。
16. 国立大学法人化後の現状と課題について（中間まとめ）
企画総務部長から、【資料24】により国立大学法人化後の現状と課題について（中間
まとめ）が7月にとりまとめられた旨の報告があった。
17. 宮崎大学が地域に及ぼす経済効果について
白石理事から、【資料25-1、25-2】により11月5日に、本学が地域に及ぼす
経済効果を定量的に分析・算出した宮崎県内での生産誘発効果、雇用効果等の結果と審議
会委員等への参画等の人的貢献について、記者発表した旨の報告があった。

18. 平成23年度概算要求に関するパブリックコメントへの対応について

企画総務部長から、【資料26】によりホームページ等で参加を呼びかけた平成23年度概算要求に関するパブリックコメントの意見提出結果について、本学からは7,391件の意見が提出され、内閣官房が発表した結果でも文部科学省関連項目への提出意見数が突出して多かった旨の報告があった。

19. 医学獣医学総合研究科設置記念式典及び祝賀会について

医学部事務部長から、【資料27】により医学獣医学総合研究科設置記念式典及び祝賀会を11月30日に開催する旨の案内があった。

20. 広報誌「宮崎大学MAGAZINE第6号」及び「国立大学法人宮崎大学ポケットガイド」の発行について

中山理事から、【席上配付資料】により「宮崎大学MAGAZINE第6号」及び「国立大学法人宮崎大学ポケットガイド」を発行した旨の報告があった。

その他

1. 部局報告

農学部長から、農学部及び農学研究科の現状及び課題等について報告があった。

2. 自由討議

本学の今後の課題等について、種々意見交換が行われた。

次回経営協議会の開催について

次回の経営協議会については、今後の議題等を整理し、日程調整の上、1月頃を目途に開催することとした。